

# 藝大フィルハーモニア管弦楽団楽員（東京藝術大学音楽学部演奏講師）公募要項

## 1. 募集人員

首席ホルン奏者 1名

## 2. 応募資格

プロフェッショナル・オーケストラの首席奏者としての演奏技能その他必要な能力を有する者

## 3. 選考方法、課題曲

【第1次選考】書類および動画（YouTube）による審査

### ◆課題曲

(1) 独奏曲（ピアノ伴奏付き）

a) W.A.モーツァルト：ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 KV495 第1楽章より  
32小節目から132小節目の1拍目まで

b) R.シュトラウス：ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 op.11 第1楽章  
\*7~24小節目をカットして演奏すること。

(2) オーケストラ・スタディ

W.A.モーツァルト：フィガロの結婚 より No.3 Cavatina 1st Horn  
冒頭から30小節目の1拍目まで

\*上記の演奏の録画を、(1) a) → b) → (2) の順に1本の動画にまとめること。

\*各曲は通して録画すること。（なお、3曲を一挙に連続して録画する必要は無しとする。）

\*b)と(2)の開始数秒前にチャプターを作成すること。

\*上記いずれも、楽譜出版社の指定は無しとする。

※第1次選考の合否、および第2次選考のスケジュール等の詳細は、メールにて通知する。

【第2次選考】実演審査

◆日程 2024年11月11日（月）14時以降 受験者集合

◆会場 東京藝術大学 上野校地（東京都台東区上野公園12-8）音楽学部内

### ◆課題曲

(1) 独奏曲（ピアノ伴奏付き）

W.A.モーツァルト：ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 KV495 第1楽章より  
32小節目から最後まで

\*伴奏者は各自同伴のこと。

\*楽譜出版社の指定は無しとする。

\*カデンツァは省略とする。時間の都合上、楽曲の途中で演奏を打ち切る場合がある。

(2) オーケストラ・スタディ

\* (1) の審査の通過者にのみ、(2) を課す。

\*第1次選考（書類および動画による審査）の合格者に、課題曲の楽譜を送付する。

※第2次選考の合否は、当日の審査終了後に口頭にて、または後日メールにて通知する。

※選考の結果、【第3次選考】オーケストラ内での演奏による審査を実施する場合がある。

## 4. 条件

◆職名 東京藝術大学音楽学部演奏講師（業務委託契約）

◆委嘱期間

\*委嘱期間は、本人と大学双方合意の場合は、年度毎に更新する。（上限年齢は60歳）

\*初回の委嘱期間（※1）は、6か月間（予定）とし、審査対象とする公演等での演奏に対して審査を行う。審査に合格し、本人と大学双方合意の場合は、契約を更新する。

◆委嘱開始時期 2024年12月以降で本人と協議し調整する。

\*第3次選考が行われる場合は、本人と大学側で協議の上、委嘱開始時期の開始を遅らせる場合がある。

◆1時間あたりの委嘱料 本学規定による（※2）

◆委嘱時間数 年間300~340時間程度（未定）

◆交通費 委嘱料とは別途にて、実費を支給（ただし、本学規定による）

（※1）委嘱開始から6か月を迎えるより前に年度末を迎える場合は、初回と2回目を併せた委嘱期間

（※2）【委嘱料の例】前年度末時点で、4年制大学卒業後の経過年数が8年6か月未満の者は、1時間あたり3,800円。前述の経過年数が8年6か月以上の者は、1時間あたり5,100円。

（2024年度実績、当初6か月間も以後も同様。）

## 5. 応募×切、提出物

以下、全ての提出物について、2024年10月10日（木）必着

### <郵送提出物>

#### (1) 履歴書（所定の様式）

\* 自筆、また写真添付のこと。

#### (2) 演奏活動歴（書式自由）

\* 特にオーケストラ分野、室内楽分野における実績等を中心に記載すること。

### 【郵送先】

〒110-8714 東京都台東区上野公園1-2-8

東京藝術大学音楽学部 藝大フィルハーモニア管弦楽団事務局 宛

\* 封筒に「**首席Hr奏者 応募書類在中**」と朱書すること。

\* (1) (2) については、持参及び電子メール等による応募は受付しない。

\* 提出物は返却しない。

### <メール提出物>

#### (3) 審査用動画のリンク

第1次選考の審査用動画をYouTubeにアップロードし、そのURLを以下のリンク先のフォームにて提出すること。

<https://forms.gle/K16wySRgDt2zhzaHA>

### 【動画に関する留意事項】

- ・「限定公開」の設定でアップロードすること。
- ・動画タイトルとして、氏名を記載すること。
- ・提出日より6ヶ月以内に録画したものであること。
- ・カメラアングルは固定、映像は必ず横長とすること。
- ・応募者と顔と体の正面、および伴奏者の姿が常に明確に写っていること。
- ・演奏中の音声や映像を加工しないこと。ビデオカメラの音量の自動調整機能は使用しないこと。
- ・審査可否の通知後に、各自で削除すること。

\* YouTubeへの動画アップロード方法については、公式ヘルプページを参照のこと。

<https://support.google.com/youtube/answer/57407?hl=ja&co=GENIE.Platform%3DDesktop>

## 6. 問合せ先

東京藝術大学藝大フィルハーモニア管弦楽団事務局

e-mail : orchestra@ml.geidai.ac.jp

## 7. その他

- ・応募にかかる費用は、応募者の負担とします。
- ・提出書類は、選考事務のみで使用することとし、その他で使用することはありません。
- ・本学は敷地内全面禁煙です。

### <藝大フィルハーモニア管弦楽団 プロフィール>

藝大フィルハーモニア管弦楽団（2016年秋、「藝大フィルハーモニア」から改称）は東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、定期演奏会のほか、声楽科との「合唱定期」、オペラ科との「オペラ定期」、音楽学部の「新卒業生紹介演奏会」、年末恒例の「チャリティーコンサート メサイア」（朝日新聞厚生文化事業団・朝日新聞社主催）、「台東第九公演」などを行っている。

教育面では、器楽科・声楽科学生との協奏曲等の共演および作曲科学生作品の披露を行っている「モーニング・コンサート」（年13回）や、指揮科学生との演奏会・試験・演習、東京藝大ジュニア・アカデミーの生徒との協奏曲の共演などを通して、学生の演奏経験の拡充に資している。

学外での活動も積極的に行っており、近年では、新国立劇場での「世界若手オペラ歌手ガラコンサート」や現代舞踊名作劇場（現代舞踊協会）の出演をはじめ、長崎県五島市、新潟県長岡市、新潟県魚沼市、秋田県秋田市でも公演を行い、いずれも好評を博した。

海外では、2017年6月のチリでの4公演（日本・チリ修好120周年記念）に続き、2023年12月には、世界三大劇場の一つであるアルゼンチンのコロロン劇場（Teatro Colón）からの招聘による公演で聴衆を魅了し、15分以上に及ぶスタンディングオベーションを受けた。（公社）日本オーケストラ連盟準会員。